

法政大学出版局◎新刊のご案内

2021年4月9日

- ① 配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願いいたします。希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書を注文扱いにて出荷させていただきます。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。

通巻 **311** 号

帖合・番線

部数

法政大学出版局 2021年5月24日配本 定価3080円(本体2800円+税)

四六判上製・306頁

洪郁如 著

《サビエンティア 62》

誰の日本時代 ジェンダー・階層・帝国の台湾史

ISBN978-4-588-60362-4 C1320

★★ 「日本時代」とは何か。印象論的な「親日台湾」を乗り越え、台湾のいまを知るためには、とりわけ日本が深く関わった時代に正面から向き合う作業が避けて通れない。植民地統治は、当時の台湾の人々の生活とその戦後をどのように規定していったのか。本書は語られなかった、書かれなかった日本時代にフォーカスし、個人史と家族史を中心に新たな視座を提供する。 【台湾史・日本史】

☆関連書：星名宏修『植民地を読む』、ロー・ミンチェン『医師の社会史』（小局刊）。

帖合・番線

部数

法政大学出版局 2021年5月24日配本 定価3190円(本体2900円+税)

A5判並製・264頁

米家志乃布 著

近世蝦夷地の地域情報 日本北方地図史再考

ISBN978-4-588-38201-7 C1025

★ アイヌ民族の生活の場であり、諸外国にも和人にも未知の土地であった蝦夷地は、江戸幕府による支配以降、明治政府による開拓・植民政策の開始にいたるまで、さまざまな地図や測量図、風景絵図に描かれ、表象されてきた。「異域」であった北海道周辺地域の情報はどのように収集・把握され、一般の人びとにも「国土」の一部として認識されるようになったのか。日本の北方地図史の展開をたどる。 【歴史地理学】

☆関連書：石原あえか『近代測量史への旅』『教養の近代測地学』（小局既刊）。

帖合・番線

部数

法政大学出版局 2021年6月下旬配本 定価4950円(本体4500円+税)

A5判並製・432頁

陣内秀信、小林ふみ子、高村雅彦、ローザ・カーロリ 監修／法政大学江戸東京研究センター 編 《EToS叢書 3》

水都としての東京とヴェネツィア 過去の記憶と未来への展望(仮)

ISBN978-7-588-78013-4 C1352

水の都として知られる江戸ー東京とヴェネツィアの人びとは、古くより水とともに生き、文化・コミュニティを育み、経済活動を営んできた。建築学、歴史学、社会学、文学、ガバナンス、アートといった学問領域を横断し、二つの巨大な〈水都〉の過去・現在・未来を一望する論文集。生活が一変したコロナ禍の世界において、豊かでサステナブルな都市の姿をふたたび描き出すための手がかりがここにある。 【都市論・人文地理】

☆関連書：EToS叢書『新・江戸東京研究』『風土(Fûdo)から江戸東京へ』好評発売中。

ご担当者様 氏名： [] 担当ジャンル： [] TEL： []

* 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。

* 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。

法政大学出版局

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3

Tel. 03-5214-5540 Fax. 03-5214-5542 E-mail: sales@h-up.com URL: http://www.h-up.com/